

農泊地域との意見交換会へ
インターンシップ学生が参加

岡山県真庭市において「湯原『食と灯り』の農泊推進協議会」、広島県庄原市において「庄原古民家ステイ推進協議会」との意見交流会に岡山商科大学の学生が参加し、農泊地域の現状と課題、今後の取り組みについて説明及び意見交換会を実施。

1. 協議会の概要

(1) 湯原『食と灯り』の農泊推進協議会

「食べる。つくる。ともす。地域に泊まる農泊体験」をキャッチフレーズに掲げ、湯原温泉の象徴である「砂湯」、地域資源の竹や檜を観光資源に、他地域の連携を強め、真庭市が誇る豊かな農林業資源を高度に融合させ、首都圏・関西圏の客層を惹きつける「高付加価値な滞在型農泊」の確立を目指している。また、地元産の米粉やジビエを活用した食品開発にも力を入れている。

(2) 庄原古民家ステイ推進協議会

インバウンドをメインターゲットとして、里山風景を観光資源とし、古民家を宿泊施設として整備し、宿泊と体験が旅の目的となりえる農泊を提供している。庄原市だけでなく観光協会、商工会議所などの主要団体と庄原DMOが一体となり、「庄原古民家ステイ」事業に取り組んでいる。また、三河内地域自治会も参画し、地域住民もホテルの清掃等に取り組み、地域の雇用を生み出し、「地域の稼ぐ装置」として運営している。

2. 意見交換会の概要

(1) 湯原『食と灯り』の農泊推進協議会

- ・開催日時 令和8年9月7日（月曜日）
- ・開催場所 菊之湯
下湯原温泉 ひまわり館
- ・内容
 - ①菊之湯 概要説明
 - ②下湯原温泉 ひまわり館 見学及び若手経営者等との意見交換会

(2) 庄原古民家ステイ推進協議会

- ・開催日時 令和8年9月8日（火曜日）
- ・開催場所 三河内棚田テラス
古民家ステイ 長者屋
旧三河内保育園
- ・内容
 - ①三河内棚田テラス 見学

- ②古民家ステイ 長者屋 見学
- ③三河内地域自治会会長との意見交換会

(3) 参加者

岡山商科大学 法学部法学科 2年生 1人

3. 参加したインターンシップ学生の感想

農泊は「宿泊」、「食事」、「体験」を3本柱にしているからこそ、地域の既存の魅力、新たな魅力も体感することができ、地域の活性化につなげることができます。

湯原 『食と灯り』の農泊推進協議会では、コロナ化以降、通過型の観光が増え、宿泊客が減少していることを課題として、新たな魅力づくりのために、特にジビエの活用に力を入れており、新たな魅力づくりを様々な人と連携をしながら、前向きに取り組んでいる姿勢を感じました。体験では、家具屋で出た端材をつかった木工体験ができ、どんなものでも作ることができるを知り、資源を有効活用し、どの世代も楽しめる体験が用意されていると思いました。

庄原古民家ステイ推進協議会では、里山風景をテラスで眺めることや古民家での宿泊などを通して、普段の生活では味わうことができない非日常体験ができると感じました。日本の昔ながらの風景を大切にしているからこそ、訪日旅行者だけでなく、国内旅行者もゆったりとした時間を過ごせると考えました。



下湯原温泉 ひまわり館での
意見交換会の様子



三河内棚田テラス